

道東地区教会連合会機関誌



道東 こ う ほ う 光 報



'DÔTÔUKÔHÔ', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.21 Nov., 2008

巻頭言

道東地区教会連合会信徒会委員長

新谷哲也

家業である秋鮭漁も終盤に差し掛かり、オホーツクの海から陸に目を転じると紅葉も過ぎ去り、晩秋と化した景色に驚きを覚えております。

○ 前信徒会委員長池亀氏の後を受けて、本年度より委員長のお役を勤めさせていただき、ます網走教会の新谷と申します。信心の浅い未熟者ですが、皆様のお力を頂き責務を全うしたいと思っておりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

○ 祖父、祖母が信奉し、その金光教の信心が両親に受け継がれ、私は金光教の信者として、三代目となります。

今は亡き両親は、両家が金光教の信者であったご縁で函館教会の二代教会長故矢代代

次先生の仲人により結婚し、そして今日の私がいます。とても不思議なご縁を感じております。

○ 私の信心に大きく影響をあたえたのは、九年前にお国替えした母でありました。遠洋漁業に乗り出した父を支えながら、家業の足しにと、薬と化粧品のお店を開業した母。四十歳をとうに越してから、薬種商への挑戦です。

莫大な資本を投入し、危険とリスクの多い仕事に、全精力をつぎ込み立ち向かう父に、四人の子供を抱え、慣れぬ仕事をしながら後方から、あるときは前面に出て父を支えた母のその姿は、子である私たちに大きな影響をあたえました。

母は毎日日記をつけていましたが、そのノートには、苦難の都度々戴いたみ教えが、書き残されており、それが私にとつて大きな宝となっております。

○ そうした私にとって宝となる程の母の信心によつて、今私が信心を進めさせて頂きおかげを蒙っていることを改めて考えますと「家庭の中から信心を」ということが今のお道にとつてとても重要なことだと思わされます。

○ その様なことから、私は家庭の中での信心の継承が一番大切だと思っており、道東各教会の皆様の協力添えを戴きながら、そのことに取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四—四一—一三五—
FAX 〇一五四—四一—一三六—

この十月十二日は、道東地区各教会教師の方々の応援、沢山の在籍信奉者の参拝を頂き、釧路布教百年祭が麗しく仕えることができ、平和活動センター理事長の小林先生のご教話を頂き、祝賀会も和やかに仕えることができました。ただただ御礼申しあげます。

これからは、これまでの教会活動のあり方を反省し、平成二十一年からは二百年へ向かつての新たな一歩、百一年目に足を踏み入れます。

勿論、その二百年の年には、現信奉者の誰一人として在命の人はいないでしょうが、私たちはその時代その時代に生きる人間の助かり、立ち行きを願って人々に信心を渡し続けていかなければならない。その渡された人がまた、次の世代の人に信心を渡し続ける限り、教会活動は終息を迎えるのです。(江郷)

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七—二四—七四七四
FAX 〇一五七—二四—七四七四

最近記憶がかなり曖昧になり、忘れないようメモしたものの置き場所も忘れてしまったので、間違いがあるかもしれないが、ブータン(だったと思ふ?)という国の王様が、物質や便利さで国の豊かさを計るのではなく、国民の「幸せ度」を重視する政策を打ち出したという記事を目にしました。

目に見えるものより、見えなものの大切にしようということなのだと思ったら、ちよつとうれい話だと思いましたが、幸せというものは感じ方によって人それぞれ、今日幸せでも明日は不幸せと思うかもしれないし、どうやって「幸せ度」を計るのか、その後の展開が気になるところです。

いうまでもなく、幸不幸は他人が決めるものではありません。時には自分が幸せと感じる方が多いのか、あるいは不幸せと思う方が多いのかをじっくり

考えて、人の本当の幸せとは何かを問うことも必要だと思えます。ともあれ、時間は万人に平等に訪れあつという間に過ぎ去りますから、教祖様が説かれたように、一刻一刻を大切に日に日に生きるが信心なりという生き方こそが、自分も他人も幸せにする最善の方法かもしれないね。(矢代)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五—三三—六八三五
FAX 〇一五五—三三—六八三五

今年も暖冬だと予想されます。九月まで残暑のようなものがありやはりかと思いました。旭岳や日高の山々の初冠雪や平野部に雪が降り始めたのが、昨年に比べまた例年より六日から十日遅いようです。地球温暖化の影響があるのでしょうか。暖冬は厳しい冬を迎える私たち北海道に住む者にとって一つ嬉しいことでもあります。それは、灯油代が低く押さえられるからです。今年は原油の高騰でガソリン、灯油等の値上がりがあり、

一時はガソリンが二〇〇円ともいわれました。同様に灯油も昨年より約倍近く高くなり、安いつきの三倍近くなりました。ようやくく少しは値段が下がり落ち着いてきましたが、まだまだ高いようです。

一般の家庭でも光熱費が軽減するように薪ストーブに変えた方もあり、また市販でもいろいろな種類のストーブもあるようです。

しかし、冬が暖かいのは有難いことではありますが、一番問題なのは地球温暖化が進んでいるということなんです。この温暖化によって豪雨・干ばつなどの異常気象の増加、生態系への影響・貴重な遺伝子の減少、気温上昇による穀物生産の低下、食糧不足問題などが起こります。神さまはいろいろな形で私たちに警告していると思います。

み教えに「世が開けるというけれど開けるのではなし、めげろのぞ・・」とあります。われさえよければいいという自己中心的なものと考え方や人間中心主義から離れ、神のはたらき、恵みを改めて頂き直し、一人ひ

とりがこの問題をわが事として
取り組み、未来のために出来る
ことから始めたいものです。

(田中)

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

今年は釧路布教百年の年でした。また、ブラジル移民百年の年にあたり、現地では皇太子を招いて盛大に移民百年を祝ったようです。そして、来年は滝上町の開拓百年の年になります。

明治四十一年八月、佐藤範雄が「今の世は海外に移住するものが多いが、日本には北海道という肥沃な大地が横たわっている」と金光中学校の始業式で語った話に感動し、黒忠や成羽などの信奉者を集い岡本正道(後の滝上教会長・滝上町長)が今の滝上に入植したのが、明治四十二年厳しい冬の待ち受ける十月末のことであった。爾来、滝上開拓の歴史が始まる。勿論、他府県からの開拓者もあったが、開拓の厳しさに耐えかねて

他に移住するものも多かった。その厳しさを堪え忍び、乗り越えて今百年の時を迎えるのである。

宗教の布教というのは、教会布教に限ったことではない。神様を支えに堪え忍ぶ精神を持つて歩む人間模様が、その歴史を作っていく。こぢんまりとではあるが来秋には滝上開拓百年の御礼を神様にさせていだきたいと考えている。

(江郷)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二四三三三九五四
FAX 〇一五二四三三三九五四

大正の初め頃のご信者さんで谷内田ツギさんという方が旭川教会にて、盲目の身であったところを開眼のおかげを頂かれ、網走に移り住むようになった。私も、信心を進めて、多くの人をお手引きなさっていました。同じ頃、十勝教会の新谷かよさん、大正八年に網走郡浦士別へ入植後、自宅を講社として取次を展開し、多くの人々を導いていました。網走教会の始ま

りは、このように市街にあつては谷内田さん、地方にあつては新谷さんを中心に、お道の信奉者が増えていく中で、谷内田さんを中心に、そのお手引きを受けた嘉多山栄子さんらによつて教会誘致の願いが高まり、釧路教会に図り、函館教会へ教会設立の陳情をしたことに始まります。

こうした信者さん方の熱心な取り組みによつて、大正十年、函館教会初代教会長の命を受けた貝瀬米吉師が、嘉多山さんの別宅を布教所として、その第一歩が踏み出されることとなったのです。

爾来、二代教会長浅野民次師、三代浅野チヨ師、四代高松清師、五代高松一雄師といった歴代の先生方が教祖様に神習い、多くの困難を乗り越え、御取次に従事くださり、平成九年、親神様の奇しき御計らいのなかで、六代目として不肖私儀へと繋がってまいりました。

しかしながら、その間、必ずしもスムーズに教会が受け継がれてはおりません。教会長が色々な事情で代わる度に在籍教

師不在等の問題が起き、教会存続の危機といったものがありました。そうした危機を当時のご信者さんの思い(信心)と道東各教会の先生方の支え(信心)によつて、今日漸く教会設立八十五年というおかげを蒙ることが出来ております。

布教八十五年を迎え、今、改めてそうした教会の歴史を重く受け止め感謝し、教祖様の生きられ方を、信心というものを我が身わが心に深く刻んで、布教九十年に向かつての歩みを確かなものにして参りたいと願っているところでございます。

(菊川)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二二
TEL 〇一五五七一一三三二二
FAX 〇一五五七一一四二二三

車のタイヤを冬タイヤに換え、境内の冬囲いをし、冬物を出して：今年もあつという間に雪の舞う季節になつてしましました。長期予報ではこの冬は太平洋側で雪が降りやすそうですが、どうなることや。ところで、十勝教会は例年こ

のシーズン「カメムシ」の被害に悩まされていました。毎年この時期になると、どこからやってきたのか大量のカメムシが教会の外壁にへばり付き、隙間から内部に侵入、24時間教会のあちこちを我が物顔で徘徊していたのです。その原因として考えられたのが「壁の色」。どうも虫の目でみると惹き付けられる色だったようで、この夏に行った補修工事の祭に思い切って教会の壁の色を変えてみました。さてその効果のほどですが：確かに教会にやってくるカメムシは少なくなりました。果たしてこれが壁の色を変えたことに寄るのか、それとも他の原因か判断するには後数シーズン経てみないと分かりませんが、とりあえず殺虫剤をバラまかずに虫を退散(?)させることができそうです。「沈黙の春」(名著です是非一読を)状態は回避できそうです。ちなみに今回のお色直しでは人間の目に目立つ色になりましたので「人が集う」場になってもらいたいところです。

(玉置)

研修会報告

▼道東地区教会連合会研修会

「教祖様の伝えたかったこと」

日時 五月十七日(日)

会場 帯広教会

提言 江郷繁樹師(釧路教会長)

内容 提言を受けて班別懇談

研修会終了後会場を移動して懇親会を行った。

参加者 二十五名

▼道東地区あいよかけよの集い

「共に助かる世界を生みだそう」

日時 五月十八日(日)

会場 帯広教会

提言 田辺忠興氏(留萌教会輔教)

内容 提言を受けて班別懇談

参加者 二十四名

※教務センターと共催

第8回道東地区教会連合会

交流パークゴルフ大会

日時 九月七日(日)

会場 釧路市・阿寒高原パークゴルフ場

当番 釧路教会

参加者 四十五名

団体優勝 帯広教会 準優勝 釧路教会

道東地区青年家族交流会

日時 八月三十日(土)～三十一日(日)

会場 音更町・十勝エコロジーパーク

内容 懇親会(バーベキュー)
参加者 十九名

役員会

日時 十月三十一日(金)

会場 北見教会

内容 二十年度行事、会計について。

出席者 七名

二十一年度行事案、予算について

教区青少年行事に協賛

▼みどりのひろば

日時 八月八日(金)～十日(日)

会場 幌加内町・笹の墓標展示館

内容 ウォークラリー、ゲームなど

▼どさんこパーク

日時 九月二十七日(土)～二十八日(日)

会場 亀田教会

内容 懇親会と金光教についての研修会

平成21年度 春の大祭日程(予定)

- ・釧路教会 5月24日
- ・北見教会 5月3日
- ・十勝教会 4月19日
- ・帯広教会 4月26日
- ・網走教会 5月17日
- ・滝上教会 未定

10月31日現在のものです。日程は変更になる場合があります。